2026年9月期決算説明会

2026年11月13日

富士製薬工業株式会社

東証プライム：4554

はじめに/エグゼクティブサマリー

売上高

前年同期比＋20.7%

62,386百万円

予想比
105.3%

上方修正後通期予想
59,250百万円

営業利益

前年同期比＋27.4%

6,355百万円

予想比
103.8%

上方修正後通期予想
6,120百万円

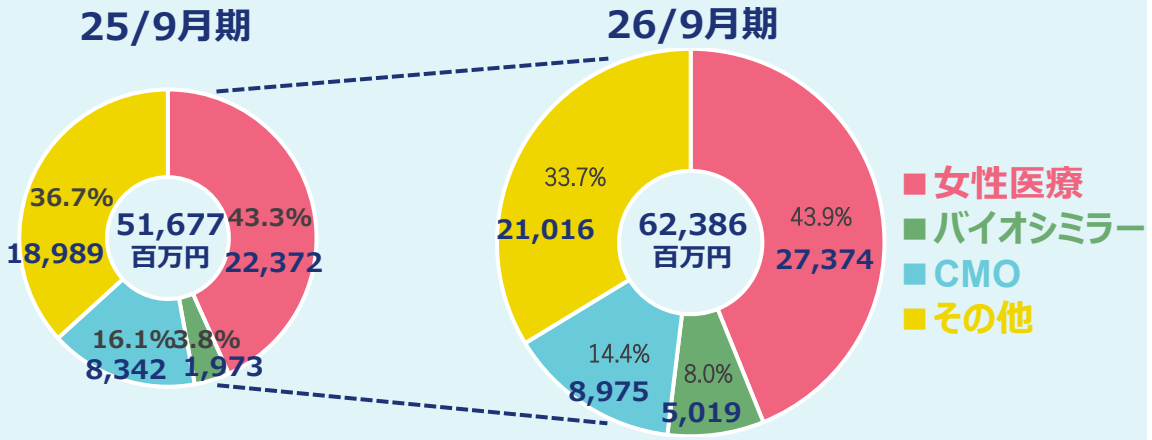
純利益

前年同期比▲5.6%

2,831百万円

予想比
126.4%

下方修正後通期予想
2,240百万円



- 【売上】
  女性医療・バイオシミラーを中心に成長し、過去最高を記録
- 【営業利益】
  研究開発費を含む一部販管費は前年同期比で増加するも、
  売上の増加により、営業利益は大幅増
- 【純利益】
  投資有価証券評価損を通期で2,000百万円計上
  （3Q時決算から1,300百万円の戻し入れ）
- 【資本政策】
  第2回新株予約権の行使完了により3,300百万円を調達
- 【配当】
  26/9期の配当金は前期45.5円から52.0円となり、6.5円の増配
  直近公表値49.0円から52.0円となり、 3.0円の増配

本日のアジェンダ

01　2026年9月期連結決算概要

02　2027年9月期連結業績予想

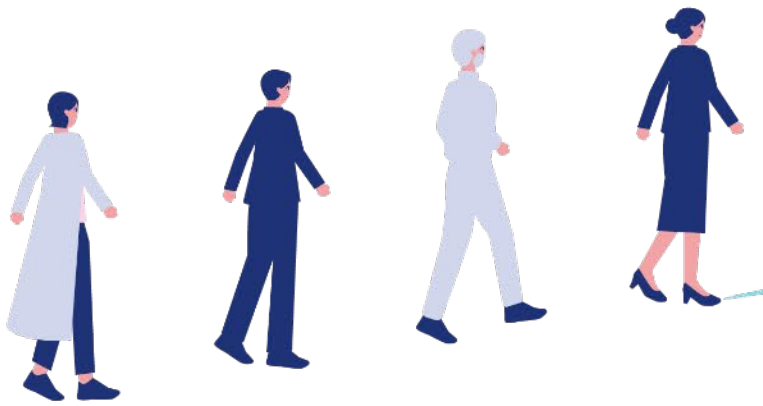
03　事業トピックス

04　Q&A

Appendix

01

2026年9月期連結決算概要



26/9期連結決算概要

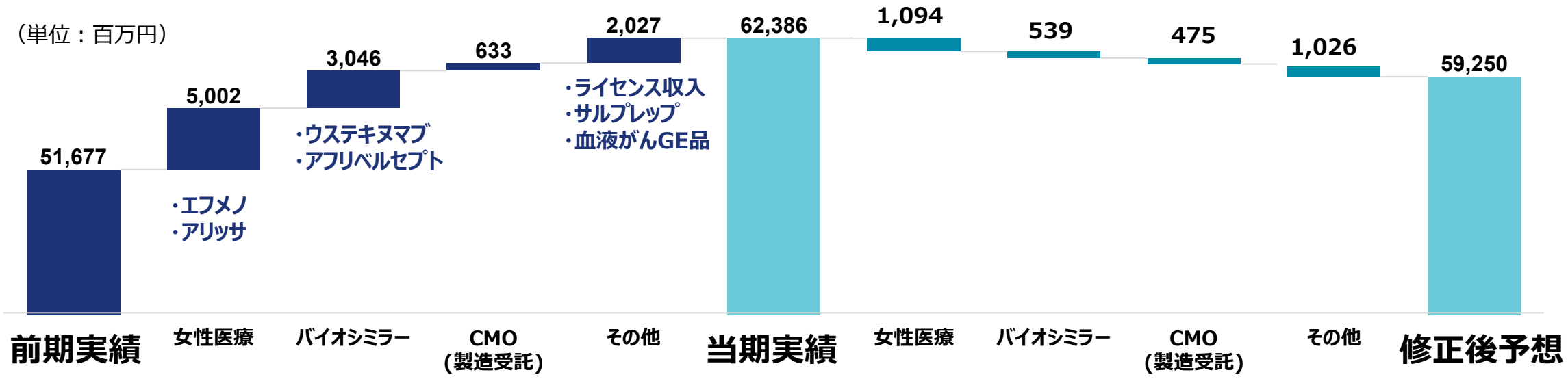
(百万円)	25/9月期 累計実績	26/9月期 累計実績	前期比 増減額	前期比 増減率	26/9月期通期 修正後予想※5	26/9月期通期 予想比
売上高	51,677	**62,386**	10,709	20.7%	59,250	105.3%
売上総利益	20,763	**24,321**	3,558	17.1%	24,820	98.0%
売上総利益率	40.2%	**39.0%**	-	-	41.9%	-
販管費	15,773	**17,966**	2,193	13.9%	18,700	96.1%
販管費率	30.5%	**28.8%**	-	-	31.6%	-
うち研究開発費	3,344	**4,059**	715	21.4%	4,600	88.2%
研究開発費率	6.5%	**6.5%**	-	-	7.8%	-
営業利益	4,990	**6,355**	1,365	27.4%	6,120	103.8%
営業利益率	9.7%	**10.2%**	-	-	10.3%	-
経常利益	4,459	**6,176**	1,717	38.5%	5,880	105.0%
経常利益率	8.6%	**9.9%**	-	-	9.9%	-
親会社株主に帰属する当期純利益※1	3,000	**2,831**	▲169	▲5.6%	2,240	126.4%
当期純利益率	5.8%	**4.5%**	-	-	3.8%	-
一株当たり利益※2（税引き後営業利益ベース）	141.87円	**173.15円**	31.28円	22.0%	173.61円 166.75円 (希薄化後※6)	99.7% (103.8%)
ROE※2（税引き後営業利益ベース）	7.5%	**8.9%**	1.4pt	18.5%	-	-
EBITDA※3	8,865	**10,562**	1,697	19.1%	10,102	104.6%
設備投資額※4	2,392	**2,783**	391	16.3%	3,470	80.2%
減価償却費（設備リース費含む）	3,875	**4,207**	332	8.6%	3,980	105.7%

※1：今期発生の一過性損失　投資有価証券の株式評価損2,000百万円の影響
※2：親会社株主に帰属する当期純利益ベースの一株当たり純利益及びROEは次のとおり　25/9期 一株当たり純利益：122.94円　ROE：6.5%　26/9期 一株当たり純利益：111.18円　ROE：5.7%
※3：EBITDA＝営業利益＋減価償却費（設備リース費含む）
※4：設備投資額=取得価格ベース　工場設備の他、システム投資等、無形固定資産を含む
※5：2026年2月5日付「特別損失（投資有価証券評価損）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」に基づく
※6：2026年3月11日付「第三者割当により発行された第２回新株予約権の行使完了に関するお知らせ」

26/9期　売上高・営業利益の増減要因（前期比、修正後予想比）

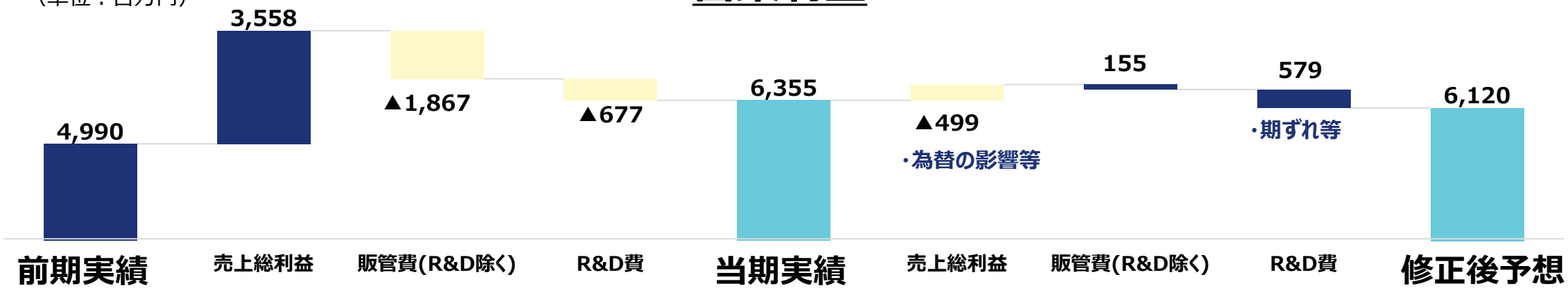
売上高

（単位：百万円）



営業利益

（単位：百万円）



26/9期 領域別売上高

中期経営計画３つの成長戦略（女性医療･バイオシミラー･グローバルCMO）はいずれも伸長

（百万円）

領域別売上高	24/9月期 累計実績	25/9月期 累計実績	26/9月期 累計実績	前期比（増減率）	26/9月期 期初 通期予想	26/9月期 修正後 通期予想※1	修正後 通期予想比
女性医療	21,162	22,372	**27,374**	22.4%	25,280	26,280	104.2%
（国内）	21,067	22,163	**26,827**	21.0%	24,680	25,680	104.5%
（海外）	94	208	**547**	163.0%	600	600	91.2%
バイオシミラー	1,837	1,973	**5,019**	154.4%	3,720	4,480	112.0%
CMO※2 医薬品製造受託	7,950	8,342	**8,975**	7.6%	8,500	8,500	105.6%
（国内）	3,831	4,364	**4,316**	▲1.1%	4,450	4,450	97.0%
（海外）	4,118	3,977	**4,659**	17.1%	4,050	4,050	115.0%
その他	15,188	18,989	**21,016**	10.7%	19,990	19,990	105.1%
合計	46,138	51,677	**62,386**	20.7%	57,490	59,250	105.3%

※1：2026年2月5日付「業績予想の修正に関するお知らせ」「2026年9月期（第62期）第1四半期連結決算 補足資料」に基づく
※2：CMO…Contract Manufacturing Organization , CMO (海外) は連結調整後の金額

26/9期 主力製品売上高

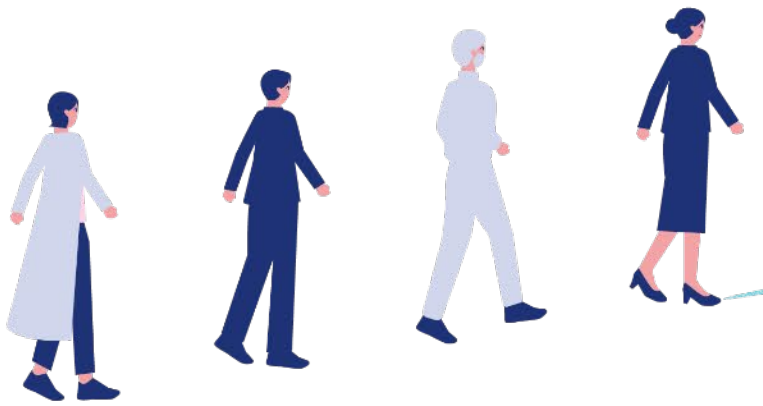
（百万円）

事業領域	製品名	区分	24/9期 累計 実績	25/9期 累計 実績	26/9期 累計 実績	前期比 増減額	前期比 増減率	26/9期 期初 通期予想	26/9期 修正後 通期予想※1	予想比※2	売上増加の要因
女性医療	黄体ホルモン剤（更年期障害） **エフメノ®カプセル**	先発	3,181	4,311	**6,068**	1,757	40.8%	5,100		119.0%	市場の拡大、競合品の出荷調整の継続
	月経困難症治療剤 **アリッサ®配合錠**	先発	-	512	**3,586**	3,074	600.4%	3,100		115.7%	長期処方解禁後、処方拡大が継続中
	黄体ホルモン剤（不妊症） **ウトロゲスタン®膣用カプセル**	先発	2,436	2,183	**2,047**	▲136	▲6.2%	1,800		113.7%	
	経口避妊剤 **ファボワール錠・ラベルフィーユ錠**	GE	3,308	3,659	**3,194**	▲465	▲12.7%	3,300		96.8%	
	緊急避妊剤　医療用医薬品＆要指導医薬品 **レボノルゲストレル錠＆レソエル®72**	GE・OTC	1,060	800	**887**	87	10.9%	900		98.6%	OTC化によって単価は下がるも市場は拡大
	女性医療(国内)　合計		21,067	22,163	**26,827**	4,664	21.0%	24,680	25,680※1	104.5%	
バイオシミラー	G-CSF製剤 **フィルグラスチムBS**	BS	1,761	1,674	**1,659**	▲15	▲0.9%	1,500		110.6%	
	乾癬治療剤 **ウステキヌマブBS**	BS	75	298	**660**	362	121.5%	600		110.0%	
	BS 3製品合計 **アフリベルセプト・ゴリムマブ・デノスマブ**	BS	-	-	**2,700**	2,700	-	1,500		180.0%	アフリベルセプトBS上市後、置き換えが急速に進む
	バイオシミラー　合計		1,837	1,973	**5,019**	3,046	154.4%	3,720	4,480※1	112.0%	
その他	CT用ヨード造影剤 **造影剤（イオパミドール・イオヘキソール）**	GE	8,211	7,868	**7,754**	▲114	▲1.4%	8,000		96.9%	
	その他　合計		15,188	18,989	**21,016**	2,027	10.7%	19,990	19,990	105.1%	

※1：2026年2月5日付「業績予想の修正に関するお知らせ」「2026年9月期（第62期）第1四半期連結決算 補足資料」に基づく
※2：製品別予想比は期初予想比,事業領域計の予想比は修正後予想比

02

2027年9月期連結業績予想



27年9月期業績予想サマリー

売上高　前年同期比＋10.9%

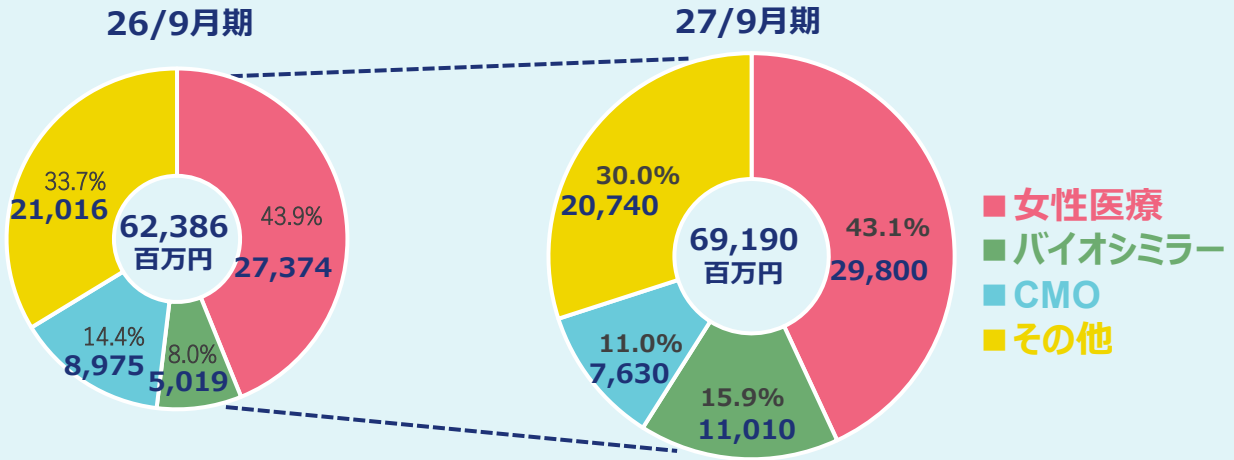
69,190百万円

営業利益　前年同期比＋16.8%

7,420百万円

純利益　前年同期比＋72.4%

4,880百万円



- 【売上】
  女性医療では新薬アリッサの成長、バイオシミラーの拡大により、売上は前年同期比10.9%増と引き続き2桁成長を見込む
- 【営業利益】
  研究開発投資を加速するが、主力製品の販売拡大、製品ミックスの改善により2桁成長を見込む
- 【純利益】
  前年同期比72.4%と大幅増を見込む
- 【配当】
  配当方針（累進配当、税引後営業利益ベース配当性向30%）に基づき、27/9期の1株当たり配当金は58.5円を見込む

27/9期通期業績予想　概要

(単位：百万円)

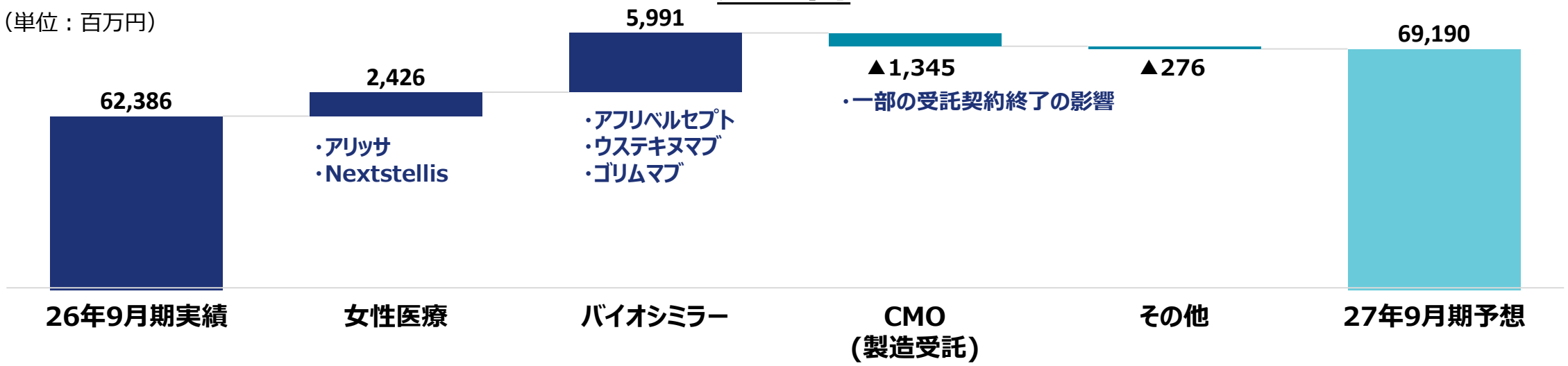
	26/9期 実績	27/9期 予想	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	62,386	69,190	6,804	10.9%
売上総利益	24,321	28,350	4,029	16.6%
売上総利益率	39.0%	**41.0%**	-	-
販管費	17,966	20,920	2,954	16.4%
販管費率	28.8%	**30.2%**	-	-
うち研究開発費	4,059	5,800	1,779	44.2%
研究開発費率	6.5%	**8.4%**	-	-
営業利益	6,355	7,420	1,065	16.8%
営業利益率	10.2%	**10.7%**	-	-
経常利益	6,176	6,910	734	11.9%
経常利益率	9.9%	**10.0%**	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	2,831	4,880	2,049	72.4%
当期純利益率	4.5%	**7.1%**	-	-
一株当たり利益※1（税引き後営業利益ベース）	173.15円	194.14円	20.99円	12.1%
自己資本利益率※1（税引き後営業利益ベース）	8.9%	10.1%	1.2pt	13.9%
EBITDA※2	10,562	11,850	1,288	12.2%
設備投資額※3	2,783	5,040	2,257	81.1%
減価償却費（設備リース費含む）	4,207	4,420	213	5.1%

※1：親会社株主に帰属する当期純利益ベースの一株当たり純利益及びROEは次のとおり　[26/9期] 一株当たり純利益: 111.18円　ROE: 5.7%　[27/9期] 一株当たり純利益: 183.9円　ROE: 9.4%
※2：EBITDA＝営業利益＋減価償却費（設備リース費含む）
※3：設備投資額=取得価格ベース　工場設備の他、システム投資等、無形固定資産を含む

27/9期通期業績予想　売上高・営業利益の増減要因（前期比）

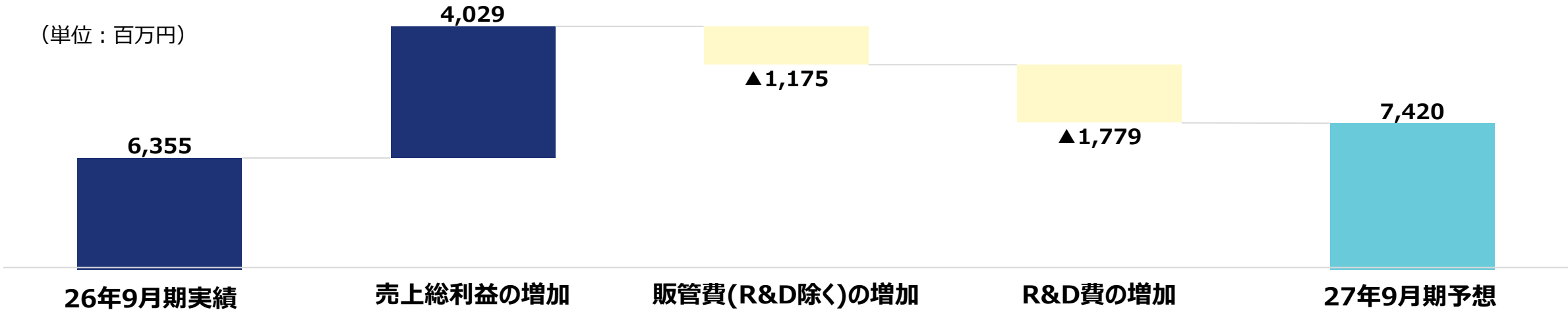
売上高

（単位：百万円）



営業利益

（単位：百万円）



27/9月期　領域別売上高予想

女性医療・バイオシミラーの売上高は順調に拡大を予想

（単位：百万円）

事業領域	25/9期 実績	26/9期 実績	27/9期 予想	前期比 （増減率）	26/9期 領域構成比	27/9期 領域構成比
女性医療	22,372	27,374	**29,800**	8.9%	**43.9%**	**43.1%**
（国内）	22,163	26,827	**28,760**	7.2%		
（海外）	208	547	**1,040**	90.1%		
バイオシミラー	1,973	5,019	**11,010**	119.4%	**8.0%**	**15.9%**
CMO医薬品製造受託	8,342	8,975	**7,630**	▲15.0%	**14.3%**	**11.0%**
（国内）	4,364	4,316	**3,620**	▲16.1%		
（海外）	3,977	4,659	**4,000**	▲14.1%		
その他	18,989	21,016	**20,740**	▲1.3%	**33.7%**	**30.0%**
合計	51,677	62,386	**69,190**	10.9%	**100.0%**	**100.0%**

※ CMO…Contract Manufacturing Organization、CMO (海外) は連結調整後の金額

27/9期主力製品売上高 予想

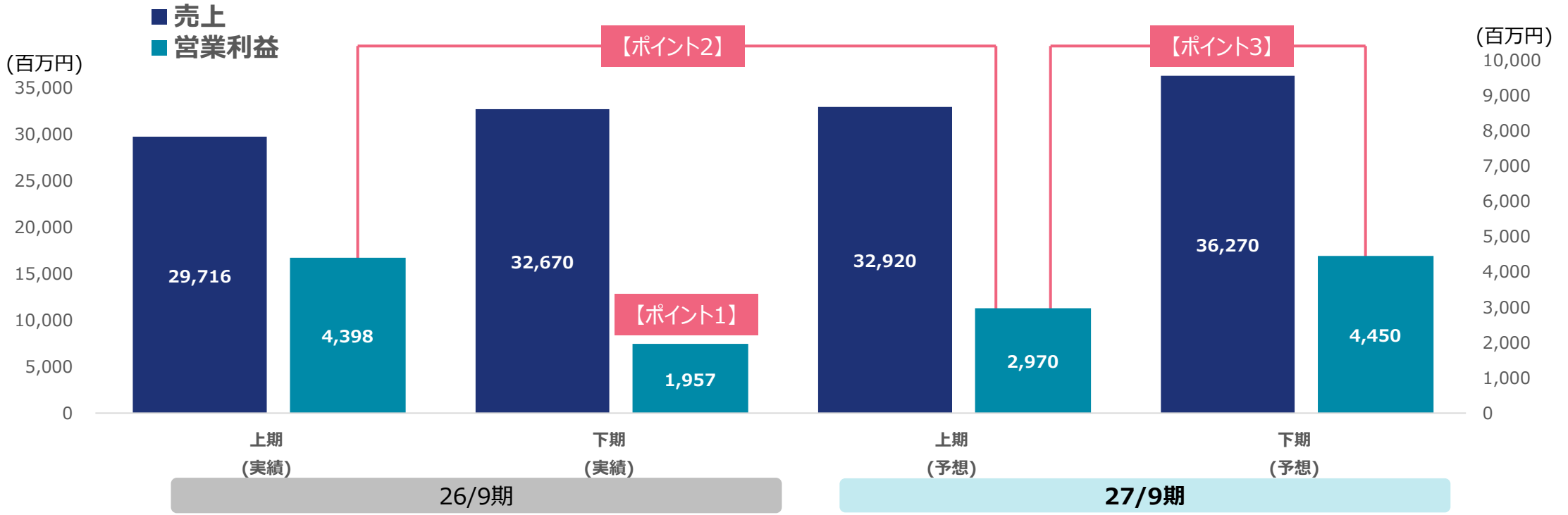
（単位：百万円）

分類	製品名	区分	25/9月期 実績	26/9月期 実績	27/9月期 通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率
女性医療	月経困難症治療剤 **アリッサ®配合錠**	先発	512	3,586	**6,760**	3,174	88.5%
	黄体ホルモン剤（更年期治療薬） **エフメノ®カプセル**	先発	4,311	6,068	**5,670**	▲ 398	▲6.6%
	経口避妊剤 **ファボワール錠・ラベルフィーユ錠**	GE	3,659	3,194	**3,200**	6	0.2%
	黄体ホルモン剤（不妊症） **ウトロゲスタン®膣用カプセル**	先発	2,183	2,047	**2,050**	3	0.1%
	緊急避妊剤 医療用医薬品＆要指導医薬品 **レボノルゲストレル錠＆レソエル®72**	GE・OTC	800	887	**900**	13	1.5%
	女性医療(国内) 合計		22,163	26,827	**28,760**	1,933	7.2%
バイオシミラー	眼科用VEGF阻害剤 **アフリベルセプトBS**	BS	0	2,437	**5,060**	2,623	107.6%
	乾癬・クローン病治療剤 **ウステキヌマブBS**	BS	298	660	**2,230**	1,570	237.9%
	G-CSF製剤 **フィルグラスチムBS**	BS	1,674	1,659	**1,820**	161	9.7%
	関節リウマチ治療剤 **ゴリムマブBS**	BS	0	216	**1,700**	1,484	687.0%
	骨病変治療剤 **デノスマブBS(RM)**	BS	0	47	**210**	163	346.8%
	バイオシミラー 合計		1,973	5,019	**11,010**	5,991	119.4%
その他	CT用ヨード造影剤 **造影剤（イオパミドール・イオヘキソール）**	GE	7,868	7,754	**6,610**	▲ 1,144	▲14.8%
	抗がん剤 **レナリドミドカプセル・ポマリドミドカプセル**	GE	1,030	2,240	**3,610**	1,370	61.2%
	経口腸管洗浄剤 **サルプレップ®配合内用液**	先発	756	1,023	**1,200**	177	17.3%
	その他 合計		18,989	21,016	**20,740**	▲ 276	▲1.3%

27/9期 上下期業績予想と前年同期比較

【ポイント2】27年9月期上期が前年同期に比べ減益となる要因
- 前期上期R&D費の下期への期ずれ（下期偏重）による利益押上げ
- 不採算品再算定に伴う在庫評価損の戻り益等による一時的な利益押上げ

【ポイント3】27年9月期下期 営業利益増加の要因
- アリッサ、バイオシミラー、新製品(ジェネリック)の売上が下期成長加速
- R&D費含む販管費が前期と異なり上下偏重なしの予定



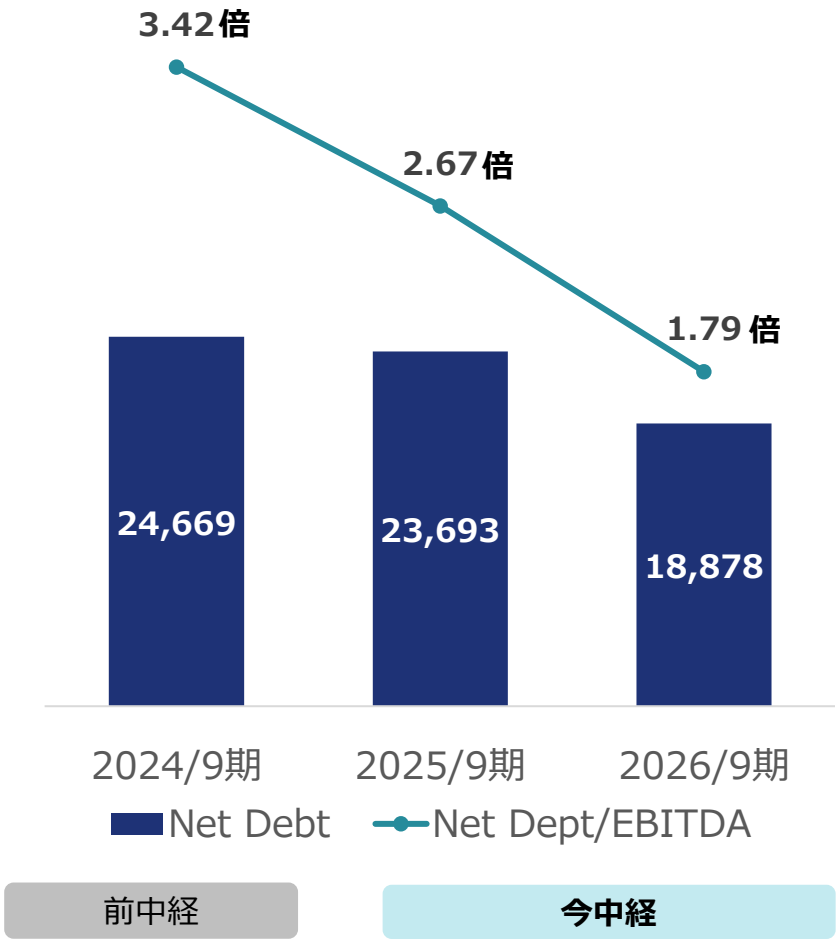
【ポイント1-1】3Qにおける営業利益が低かった要因(Appendix P39参照)
- 為替影響
- 契約条項に伴う一時金の支払い
- 受託加工賃の見通し修正(想定より安価)

【ポイント1-2】4Qにおける営業利益が低かった要因(Appendix P39 参照)
- ゲデオン・リヒター社との共同開発の進捗によるR&D費の一括計上
- 緊急避妊薬のスイッチOTC化の発売における販売支援金の一括計上
- 堅調な業績に伴う社員還元

財務健全性

ネット有利子負債 / EBITDA倍率は2.67倍から1.79倍へ低下

■ ネット有利子負債（百万円）とネット有利子負債/EBITDA倍率



今中経における方針・施策

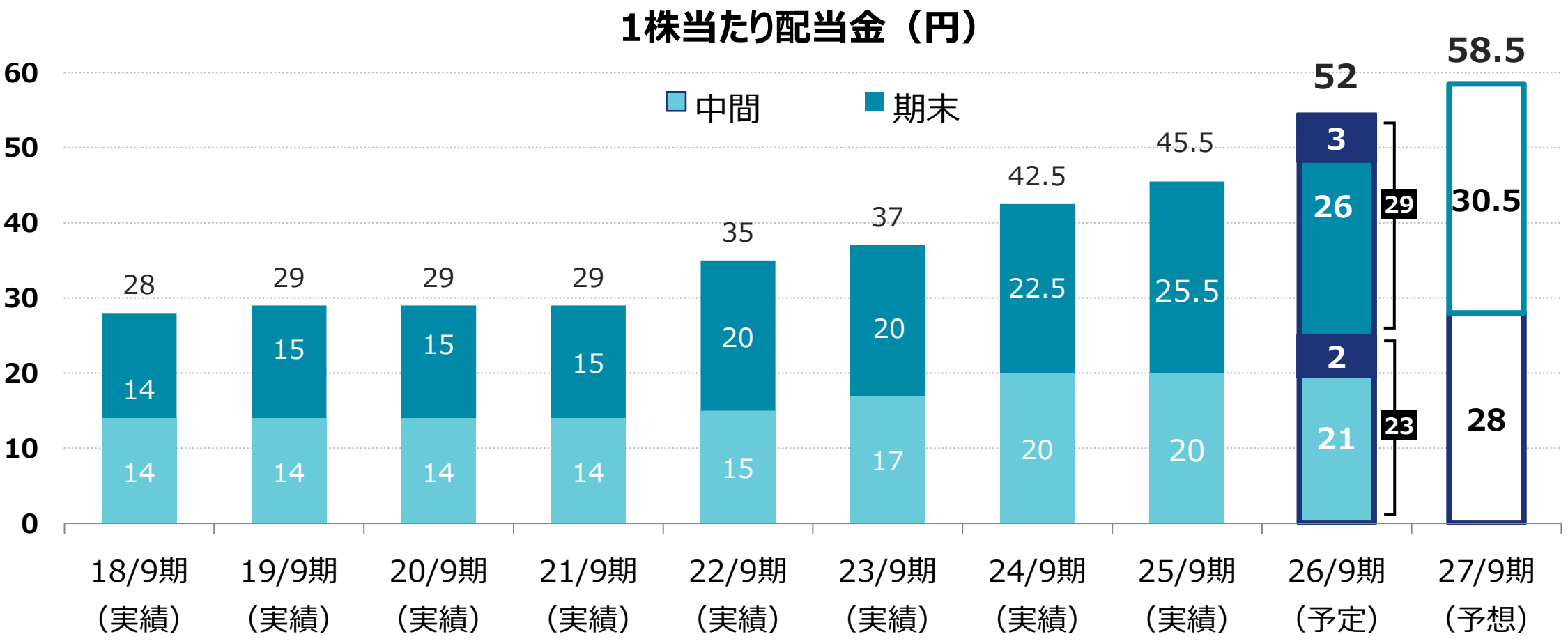
- 機動的な成長投資ができる財務体質の構築
- ネット有利子負債/EBITDA倍率
  1.5～3.0倍水準を目指す

2026年9月期時点の進捗

- ネット有利子負債/EBITDA倍率は
  3.42倍から1.79倍まで改善
- 財務体質の改善が進み、将来の投資余力が上昇

26年9月期末は3円(中間2円)の増配を見込み、通期で52.0円を予定
27年9月期配当予想は58.5円(中間28円、期末30.5円)

株主還元方針：累進配当･配当性向30%以上（税引き後営業利益ベース）

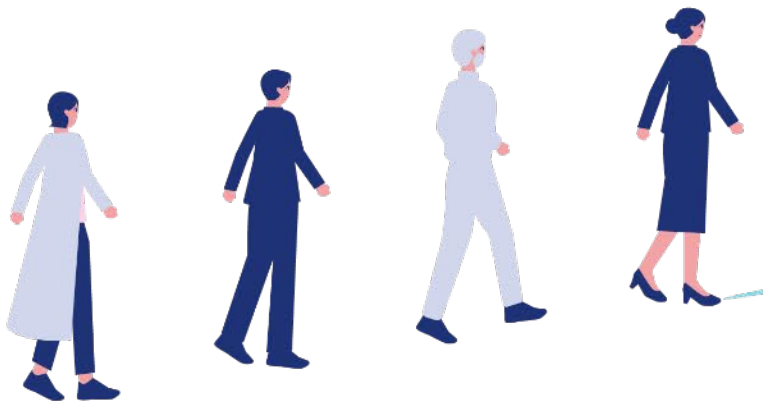


※：2018年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。そのため、2018年9月期中間配当以前は、当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金を算出

03

事業トピックス

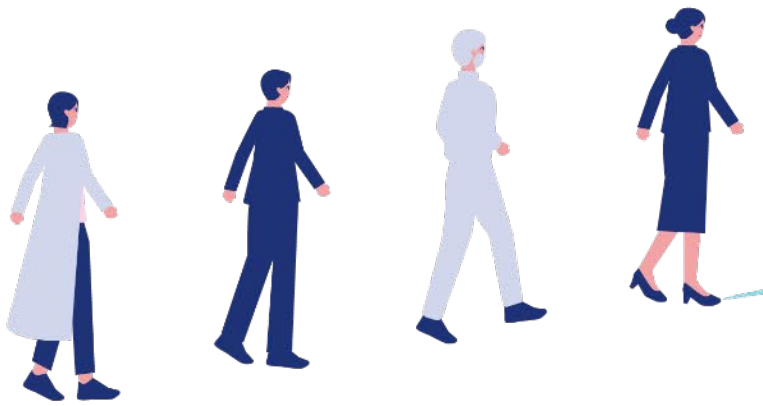
- 女性医療
- バイオシミラー
- 研究開発



03

事業トピックス

- 女性医療
- バイオシミラー
- 研究開発



社会にとって大きな課題である女性の健康課題

人生のうち、女性は男性よりも25%多い時間を、不健康な状態で過ごしています※1



月経随伴症に伴う経済損失額

約6,000億円

更年期症状による経済損失額

約1兆9,000億円



※2

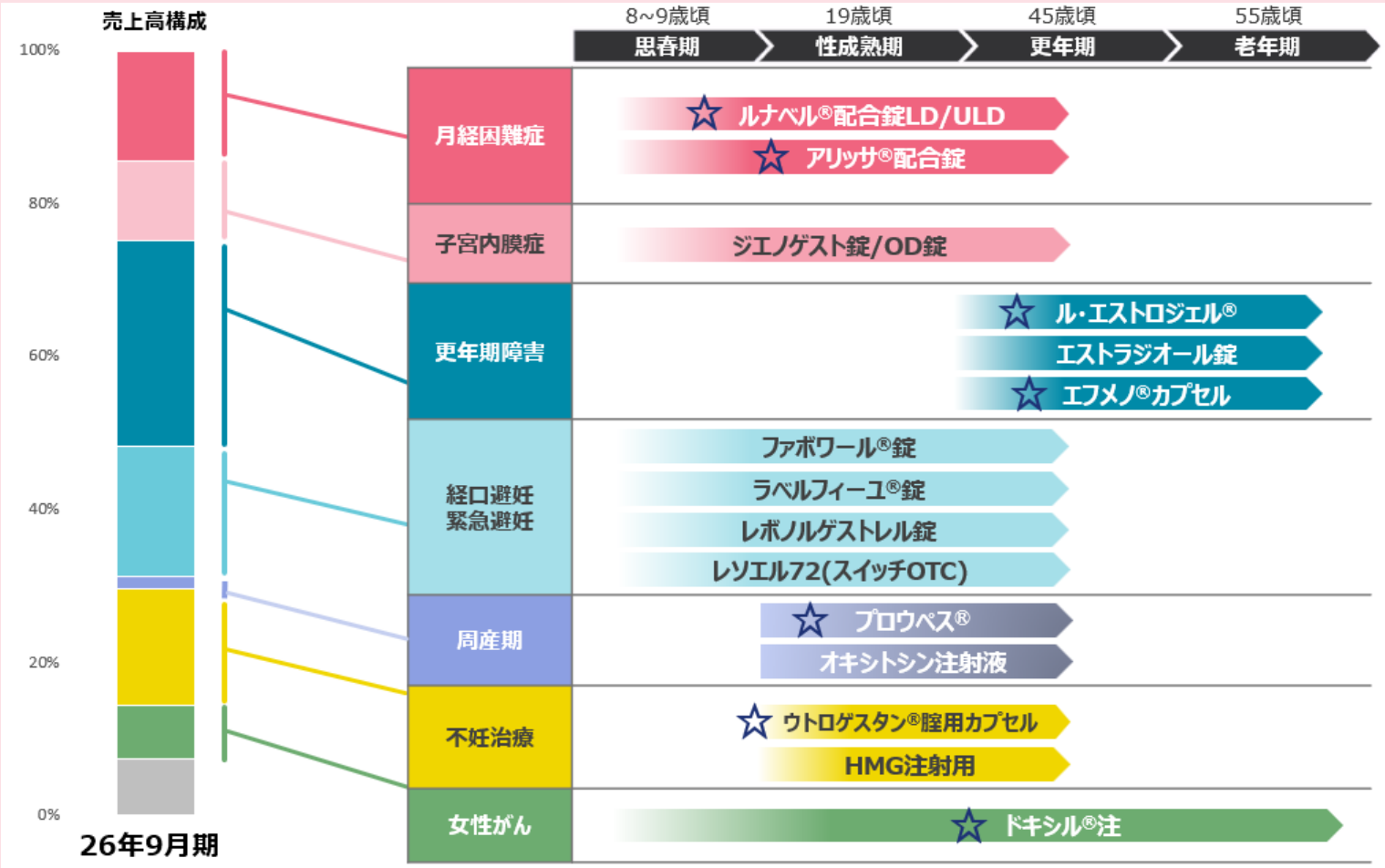
女性を取り巻く健康課題

子宮内膜症	月経随伴症	子宮筋腫	更年期症状	婦人科がん	不妊症
（推定患者数※3）	（推定無治療人数※5）	（推定患者数※3）	（推定無治療人数※5）	（15～64歳の患者数※3）	（検査や治療を受ける割合※4）
約17万人	**約1,300万人**	**約19万人**	**約300万人**	**約57万人**	**約4.4組に1組**

※1 出典：世界経済フォーラム2024「Closing the Women's Health Gap: A $1 Trillion Opportunity to Improve Lives and Economies」
※2 出典：経済産業省ヘルスケア産業課「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」
※3 出典：厚生労働省「令和2年患者調査」
※4 出典：厚生労働省「不妊治療と仕事との両立サポートハンドブック」
※5 出典：経済産業省ヘルスケア産業課「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」、厚生労働省「人口動態統計」をもとに自社推計

女性医療で築いてきた当社の強み

ライフステージごとの健康課題と主な製品　☆=新薬/先発医薬品



※本資料に含まれている医薬品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
※当社調べ
※女性医療領域の範囲の定義：更年期障害、不妊症、経口避妊剤、月経困難症、子宮内膜症、抗がん剤、周産期、感染症

当社の強み

専門MR90名
(産婦人科領域での情報提供体制)

女性医療の品目数
国内No,1※(約40品目)

特殊な製造設備と高度な製造技術
(参入障壁の高さ)

ライセンサー・パートナーとの連携
(国内外の成長機会を獲得)

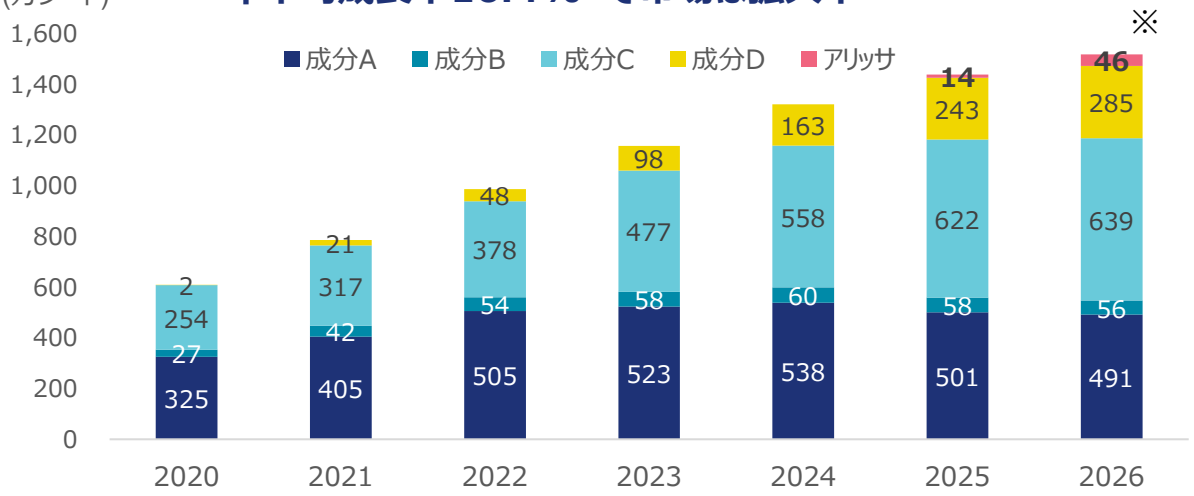
※当社調べ

女性のライフステージに寄り添い、一生涯を見据えた治療選択肢を提供

アリッサ(E_4＋DRSP)を成長ドライバーに、日本とASEANで女性医療を拡大

国内月経困難症治療薬市場規模：約760億円(アリッサ薬価換算)

年平均成長率16.4%※で市場は拡大中



※ 出典：Copyright © 2026 IQVIA. IQVIA MIDAS (2020年9月-2026年3月MAT) をもとに自社試算　無断転載禁止



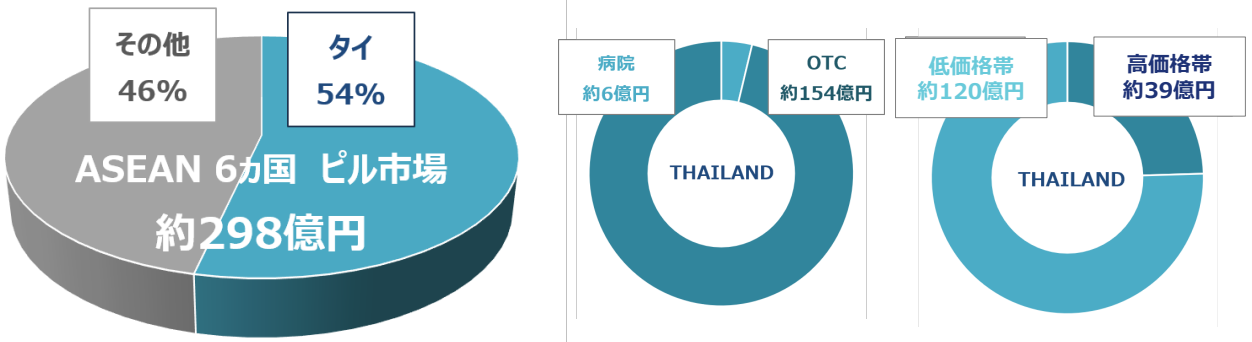


発売2年目(26年9月期)
年間計画を大きく超える成長

市場環境
競合品の参入により競争環境は変化

発売3年目の成長に向けて
唯一の天然型エストロゲンE_4を含有するアリッサで新規・既存からの切り替え活動を強化
ターゲットの明確化とマルチチャネル展開を加速

ASEAN経口避妊薬市場規模：約298億円



ASEAN6ヵ国における経口避妊薬市場は約298億円 ※
(タイ、インドネシア、シンガポール、フィリピン、ベトナム、マレーシア)

※: Copyright © 2026 IQVIA. IQVIA MIDAS (2026年3月MAT)をもとに自社分析　無断転載禁止

Nextstellis®



グループ会社OLIC

- **タイ**
  25年11月月経困難症の適応追加による販売拡大
  (日本国内のアリッサ配合錠のデータを使用)

- **ASEAN**
  ASEANにおける開発および販売権を保有
  フィリピン、ベトナム、インドネシア、マレーシアで申請済み
  シンガポール申請準備中

医薬品の提供にとどまらず、女性医療を取り巻く課題解決への取り組み

生活者・社会に向けて

理解を広げ、婦人科受診のきっかけをつくる
社会課題としての認知拡大と解決の模索

1 日本経済新聞社 丸の内キャリア塾
「女性の健康週間スペシャルセミナー」協賛

2026年3月に開催されたイベントで社長が登壇し、健康とキャリアを考える機会を提供。

2 女性のための働き方改革
「生理快適プロジェクト」協賛



月経に関する正しい知識・理解を広げる活動。
当社は2020年より協賛しています。

3 女性の更年期　日々の笑顔を取り戻す
「ハルノヒスマイルプロジェクト」協賛



産・官・民で女性の更年期について考えるプロジェクト。
当社は2025年から協賛しています。

4 令和8年度厚生労働省委託
「働く女性の健康支援事業」
・働く女性の身体と心を考える委員会 委員
・研修会への登壇

検討委員会に企業代表として当社社員2名が参画。
また、事業主や人事労務担当者などを対象とした研修会の「女性の健康課題コース」にて当社社員が登壇しています。

5 外部Webサービスを活用した疾患啓発・適切な受診行動の促進

6 資本市場との対話を通じた女性の健康課題への理解促進（IR-Day開催等）

社内の取り組み

まずは社内から変える

1 医療費補助制度
婦人科検診費用補助（乳がん/子宮頸がん）
医療費補助（ピル/更年期治療薬）
医療費補助（大腸内視鏡検査費用の補助）

2 不妊治療 特別休暇制度

3 社内保健師による健康サポート

4 社員向け勉強会の開催など

5 執行役員の知識・理解向上
女性の健康検定®に全員合格

未充足ニーズを起点にグローバルパートナーと新たな治療選択肢を創出

女性医療における主な未充足ニーズの大きい領域

子宮内膜症
疼痛コントロールが不十分、長期的な疾患管理の負担が大きい

不妊症
より低侵襲で新しい治療アプローチが求められる

更年期障害
多様なライフスタイルに応じた治療選択肢が不足

グローバルパートナー

富士製薬工業

エフメノカプセル
ウトロゲスタン
ル・エストロジェル

アリッサ配合錠
Nextstellis

Besins Healthcare

モナコ公国に本社を置く製薬企業
女性医療および男性医療における
新規治療の世界的リーディングカンパニー

Gedeon Richter Plc.,

ハンガリーに本社を置き女性医療を
中核事業と位置づけるグローバル企業
避妊、不妊、子宮内膜症、更年期を中心に、
研究開発から製造・販売まで一貫して展開

Gedeon Richter社との戦略的協業契約

- **両社が培ってきた経験と知見を活かし、世界中の有望な新薬候補を探索・評価・獲得する**
- **GR社が保有する創薬研究、R&D拠点への当社専門人材の派遣を通じた開発の推進と人材育成**
- **当社は日本・ASEAN・韓国での開発・製造・販売権を取得**

前臨床～初期臨床段階の
複数のファーストインクラス候補を共同開発

・「FMC2」（子宮内膜症向けファーストインクラス抗体薬）
子宮内膜症に対する疾患修飾型（disease-modifying）を狙う抗体薬
「根治に近づく非ホルモン治療」としての位置付け

・JNK阻害薬（非ホルモン免疫療法としての内膜症治療）
Jun N-terminal kinase（JNK）を標的とする低分子薬
痛み＋炎症を同時に制御する非ホルモン治療として開発中
「免疫・炎症ネットワークを直接制御する」新機序

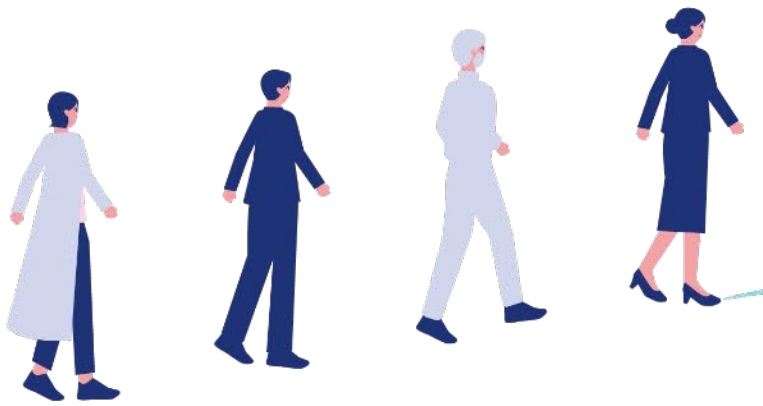
・経口FSH受容体アゴニスト（世界初の経口卵巣刺激）
注射剤ベースのART（高度生殖補助医療）を経口薬に置き換える可能性があり

・AMH標的抗体（アゴニスト／アンタゴニスト）
卵胞形成 （folliculogenesis）を直接制御する新機序

03

事業トピックス

- 女性医療
- バイオシミラー
- 研究開発



政策の後押しを受け、バイオシミラー市場はさらなる拡大へ

普及を後押しする制度環境

2023　政府目標を設定

2029年度末までに、
80%以上へ置換された成分を
全成分の60%以上へ

2024　病院での使用促進を診療報酬で評価

- バイオ後続品使用体制加算
- バイオ後続品導入初期加算の対象拡大

2025　普及と安定供給を政府方針に明記

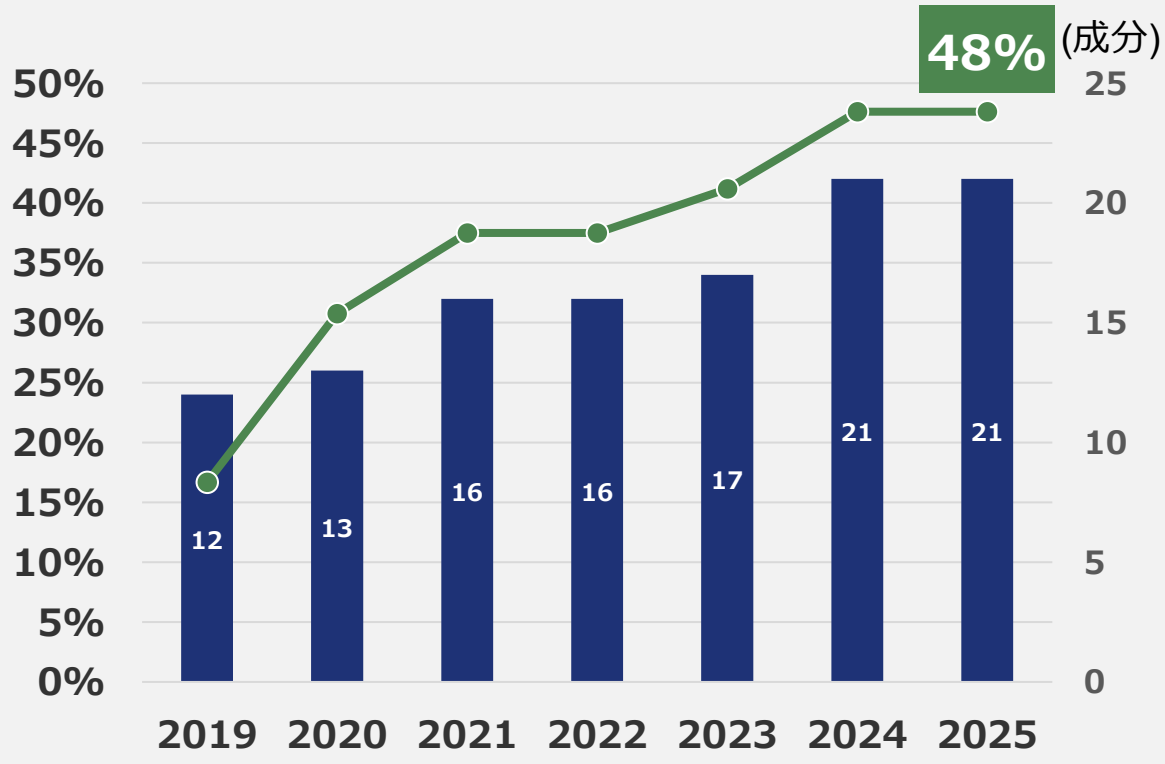
- 国内生産体制の整備
- 製造人材の育成・確保
- 使用促進

2026　薬局・薬剤師を通じた普及促進強化

- バイオ後続品調剤体制加算の新設
- バイオ医薬品の一般名処方

2025年には21成分中10成分(48%)が置き換え率50%超え

置き換え率50%以上となった成分の割合



出典：Copyright©2026IQVIA. IQVIA MIDAS (2019年9月-2025年9月MAT) をもとに自社分析。
無断転載禁止。

上市済み5製品はすべて1st上市

バイオシミラー

フィルグラスチムBS(後続1)　1st上市　血球の増加促進、抗がん剤による好中球減少症 他



- ✓ 発売から13年　安定供給を継続し、トップシェア

ウステキヌマブBS(後続1)　1st上市　尋常性乾癬、クローン病



- ✓ 先行品市場：567億円※2　BS薬価換算：約270億円
- ✓ 口座獲得は順調(BS採用施設口座シェア96%※1)
- ✓ 市場の9割は消化器領域(クローン病・潰瘍性大腸炎)⇒クローン病の効能を8月に取得
  クローン病で使用するには130mg製剤が必要⇒9月承認取得・11月薬価収載予定

アフリベルセプトBS(後続2)　1st上市　加齢黄斑変性 他



- ✓ 先行品市場：781億円※2　BS薬価換算：約390億円
- ✓ 26年1月7日 提携する日東メディック社より発売

ゴリムマブBS(後続1)　1st上市　関節リウマチ、潰瘍性大腸炎



- ✓ 先行品市場：414億円※2　BS薬価換算：約200億円
- ✓ 26年5月薬価収載、7月発売(単独)　**現在出荷制限中**

デノスマブBS（後続1）　1st上市　固形癌骨転移による骨病変 他

- ✓ 先行品市場：201億円※2　BS薬価換算：約100億円
- ✓ 26年5月薬価収載、8月発売(単独)　**現在出荷制限中**

※1 自社推計
※2 出典：Answers News Webサイト2025年6月25日記事「2024年度国内医薬品売り上げランキング」

出荷制限(ゴリムマブBS・デノスマブBS)の主な要因と対策

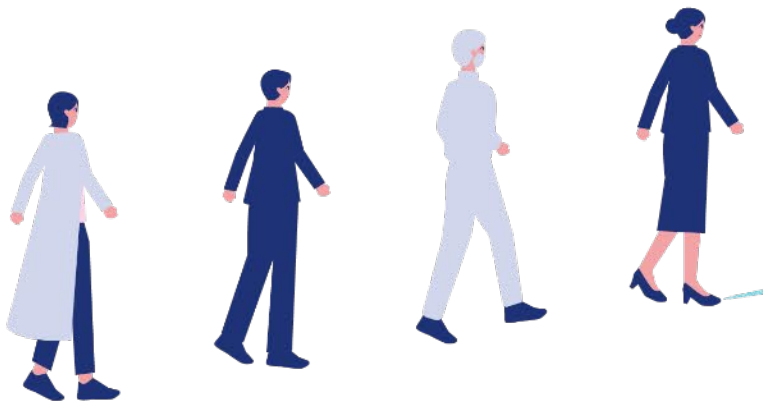
	需要	供給
要因	想定を超える需要	供給量の不足
対策	当社 **需要予測の精緻化** 複数シナリオを用いた需要を予測し、前提変化時の機動的な見直し	Alvotech社 **生産キャパシティ拡大** **海外製造委託先追加** 供給元にて海外製造所2拠点追加 **製品リードタイム短縮** 調達・製造・出荷プロセスを見直し、供給までの期間を短縮 当社×Alvotech社 **富山工場活用の本格検討** 2023年に第5製剤棟内に新規導入した高薬理活性マルチシリンジライン

需要予測の精度向上と供給能力の強化を両輪に、安定供給体制の再構築を進める

03

事業トピックス

- 女性医療
- バイオシミラー
- **研究開発**



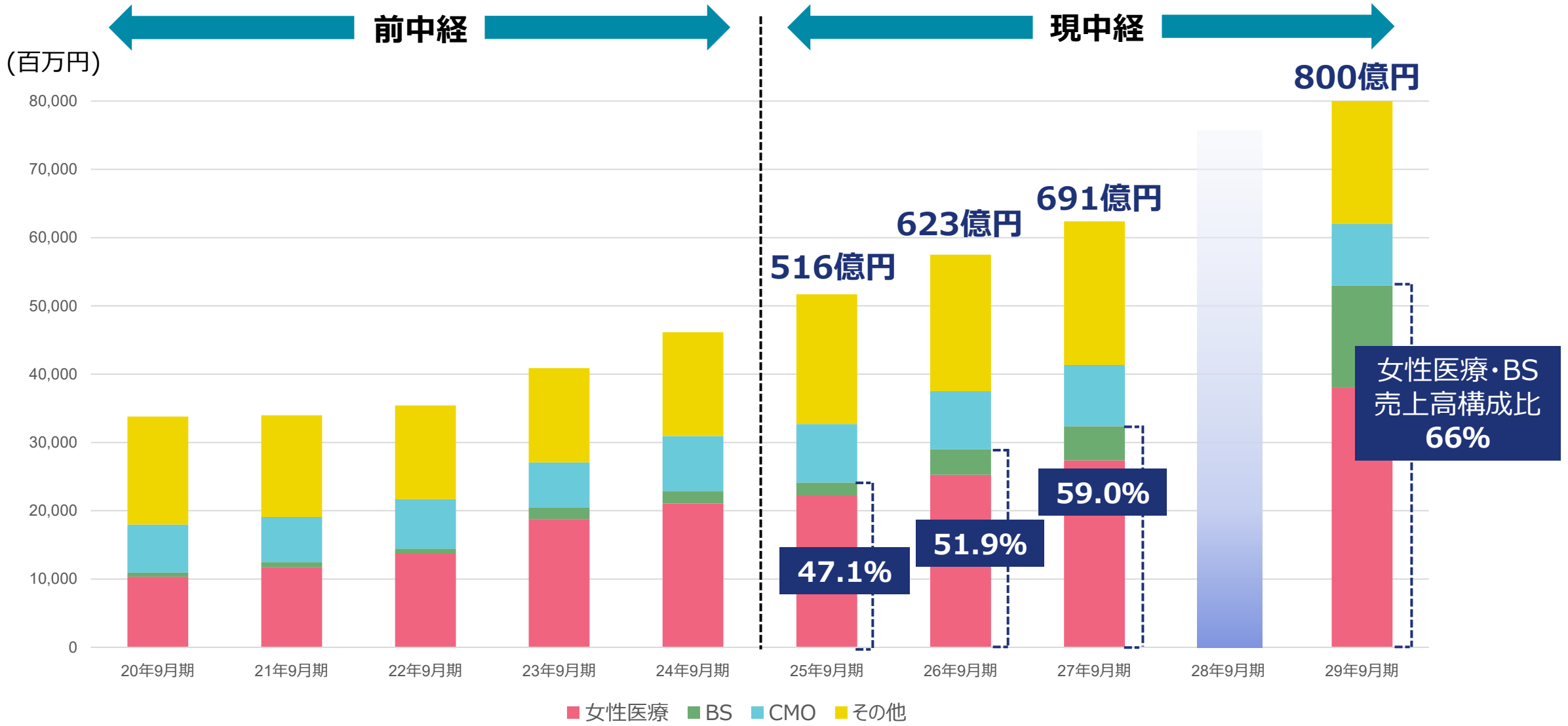
開発パイプライン

2026/11/13現在

区分	国内	海外	開発コード・一般名	取得想定適応症	開発状況	現中経期間における売上計上
女性医療 Women's Health						
新薬	●		FSN-013/エステトロール,ドロスピレノン	子宮内膜症に伴う疼痛	PhⅢ実施中（効能追加）	●
	●	●	FMC2	子宮内膜症	IND準備中	
	●		FSN-011/天然型プロゲステロン	早産	開発準備中	
		●	FSN-014/エステトロール	更年期障害	申請準備中（タイ）	●
		●	エステトロール,ドロスピレノン	避妊,月経困難症	申請中（フィリピン,ベトナム,インドネシア,マレーシア ）	●
		●	エステトロール,ドロスピレノン	避妊,月経困難症	申請準備中（シンガポール）	●
GE	●		FSK1332	非開示	申請中	●
	●		FSK2301	非開示	開発中	●
バイオシミラー Biosimilars						
BS	●		FSK2303※	非開示	申請中	●
	●		FSK2006			●
	●		FSK2602		開発中	●
	●		FSK2604			
その他 Others						
GE	●		ポマリドミドカプセル「F」	再発又は難治性の多発性骨髄腫	販売準備中（承認取得済み）	●

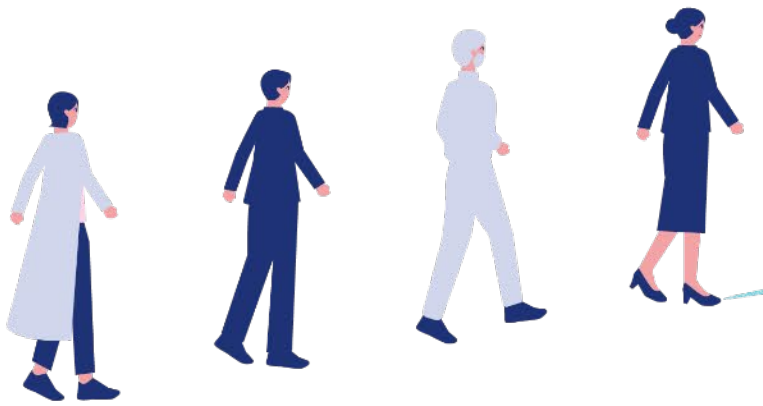
※FSK2303はAlvotech社以外からの導入開発品

29年9月期売上800億円に向けて、順調に進捗
27年9月期も女性医療･BSを軸に更なる成長を見込む

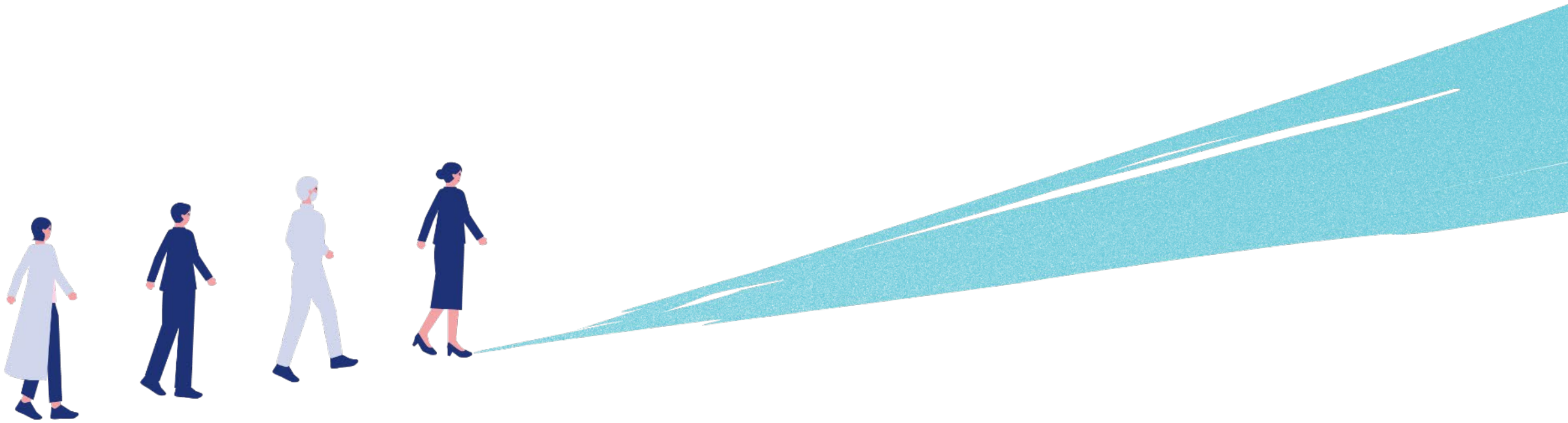


05

Q&A



Appendix



26/9期連結決算ハイライト

(百万円)	25/9期 実績	26/9期 実績	前期比		26/9期通期	
			増減額	増減率	修正後予想※1	予想比
売上高	51,677	**62,386**	10,709	20.7%	59,250	105.3%
売上総利益 売上総利益率	20,763 40.2%	**24,321** **39.0%**	3,558 -	17.1% -	24,820 41.9%	98.0% -
営業利益 営業利益率	4,990 9.7%	**6,355** **10.2%**	1,365 -	27.4% -	6,120 10.3%	103.8% -
EBITDA※2	8,865	**10,562**	1,697	19.1%	10,102	104.6%
親会社に帰属する当期純利益※3 当期純利益率	3,000 5.8%	**2,831** **4.5%**	▲169 -	▲5.6% -	2,240 3.8%	126.4% -
一株当たり利益※4 （税引き後営業利益ベース）	141.87円	**173.15円**	31.28円	22.0%	173.61円 166.75円 (希薄化後)	99.7% (103.8%)

新株予約権の行使完了により、3,300百万円を調達※5

名称	発行した新株予約権の数	行使数	発行済株式総数	資本金の額	調達の目的
富士製薬工業株式会社 第2回新株予約権	16,500個	16,500個	26,541,100株	5,555,919,505円	研究開発費用

※1 2026年2月5日付「特別損失（投資有価証券評価損）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」に基づく
※2 EBITDA＝営業利益＋減価償却費（設備リース費含む）　※3 今期計上の一過性損失 投資有価証券の株式評価損2,000百万円の影響
※4 親会社株主に帰属する当期純利益ベースの一株当たり純利益は次のとおり　25/9期 一株当たり純利益:122.94円 26/9期 一株当たり純利益:111.18円
※5 2026年3月11日付「第三者割当により発行された第２回新株予約権の行使完了に関するお知らせ」

27/9期　売上増加の内訳

27/9期
売上高増加額

◆ 女性医療

- アリッサ配合錠（月経困難症治療剤）
- タイOLIC製造販売事業

女性医療 → **+37億円**

◆ バイオシミラー

- アフリベルセプトBS（眼科用VEGF阻害剤）
- ウステキヌマブBS（乾癬・クローン病治療剤）
- ゴリムマブBS（関節リウマチ治療剤）

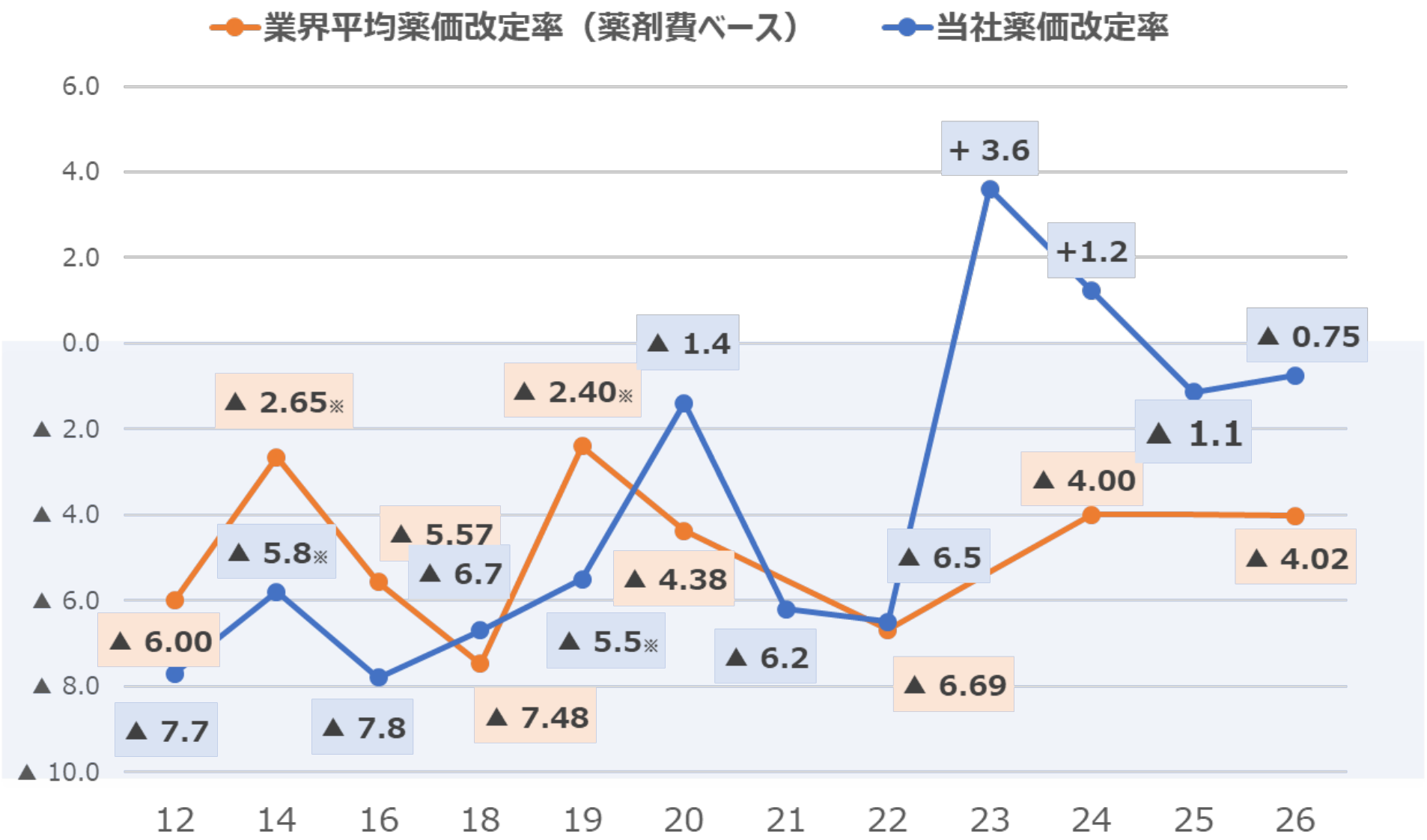
バイオシミラー → **+56億円**

◆ その他

- レナリドミド、ポマリドミド（多発性骨髄腫治療剤）
- サルプレップ（経口腸管洗浄剤）

その他 → **+15億円**

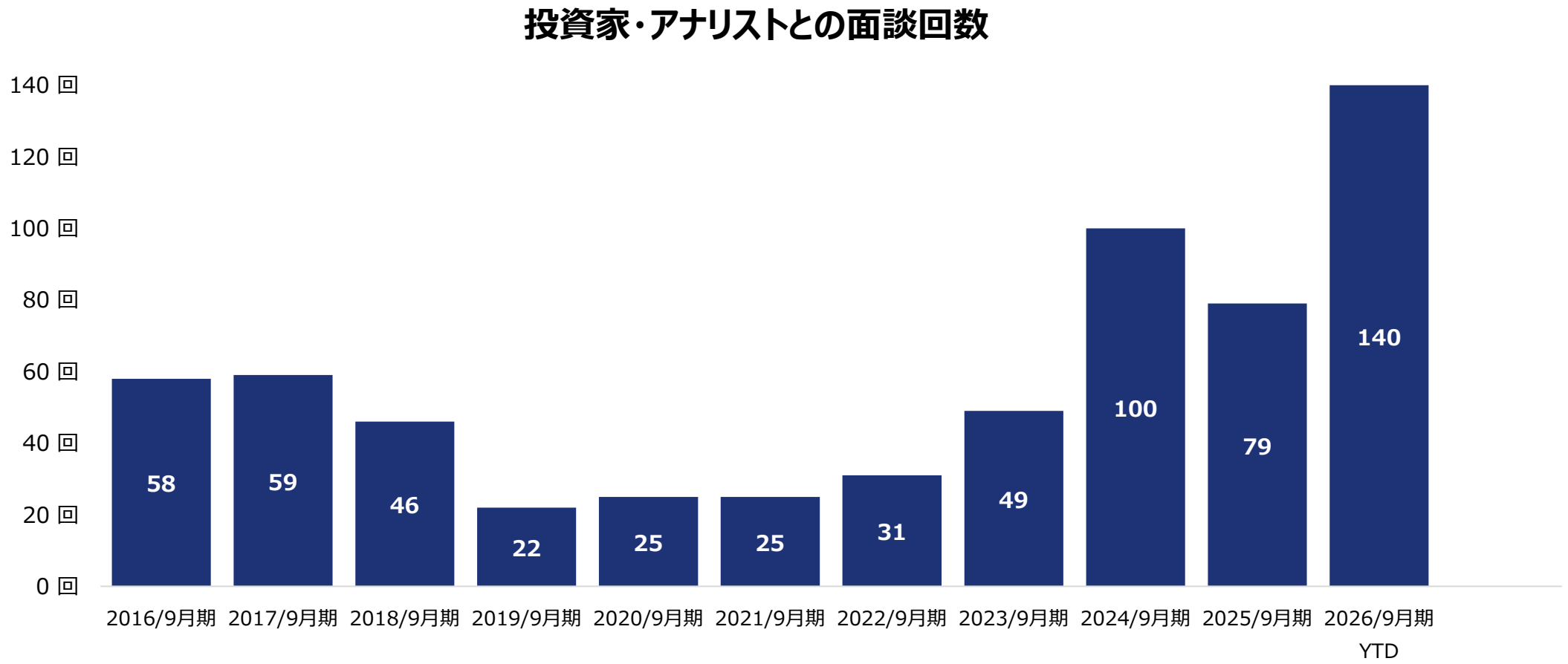
薬価改定率推移


業界平均薬価改定率（薬剤費ベース）
当社薬価改定率
6.0
4.0
2.0
0.0
▲ 2.0
▲ 4.0
▲ 6.0
▲ 8.0
▲ 10.0
12
14
16
18
19
20
21
22
23
24
25
26
▲ 6.00
▲ 2.65※
▲ 5.57
▲ 2.40※
▲ 4.38
▲ 6.69
▲ 4.00
▲ 4.02
▲ 7.7
▲ 5.8※
▲ 7.8
▲ 6.7
▲ 7.48
▲ 1.4
▲ 5.5※
▲ 6.2
▲ 6.5
+ 3.6
+1.2
▲ 1.1
▲ 0.75

1円変動時の影響額

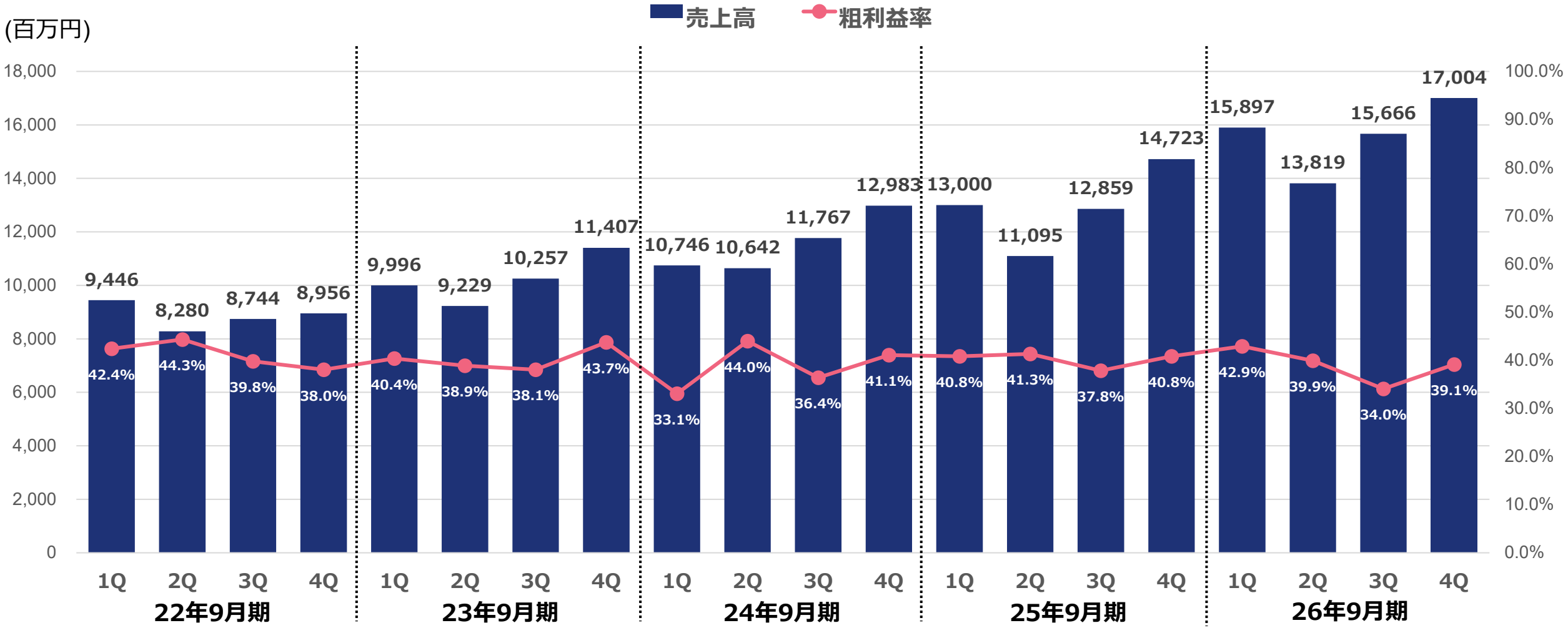
通貨	予算レート	取引	影響
米ドル	160.0円	仕入	約23百万円
ユーロ	188.0円	仕入	約30百万円
タイバーツ	5.0円	仕入 連結	約205百万円 約170百万円

IR活動サマリー



- **注目いただいているポイント**
  - 領域特化型のビジネスモデル
  - 女性医療領域の今後の展望、成長ドライバー
  - バイオシミラー事業の進捗、今後の展開

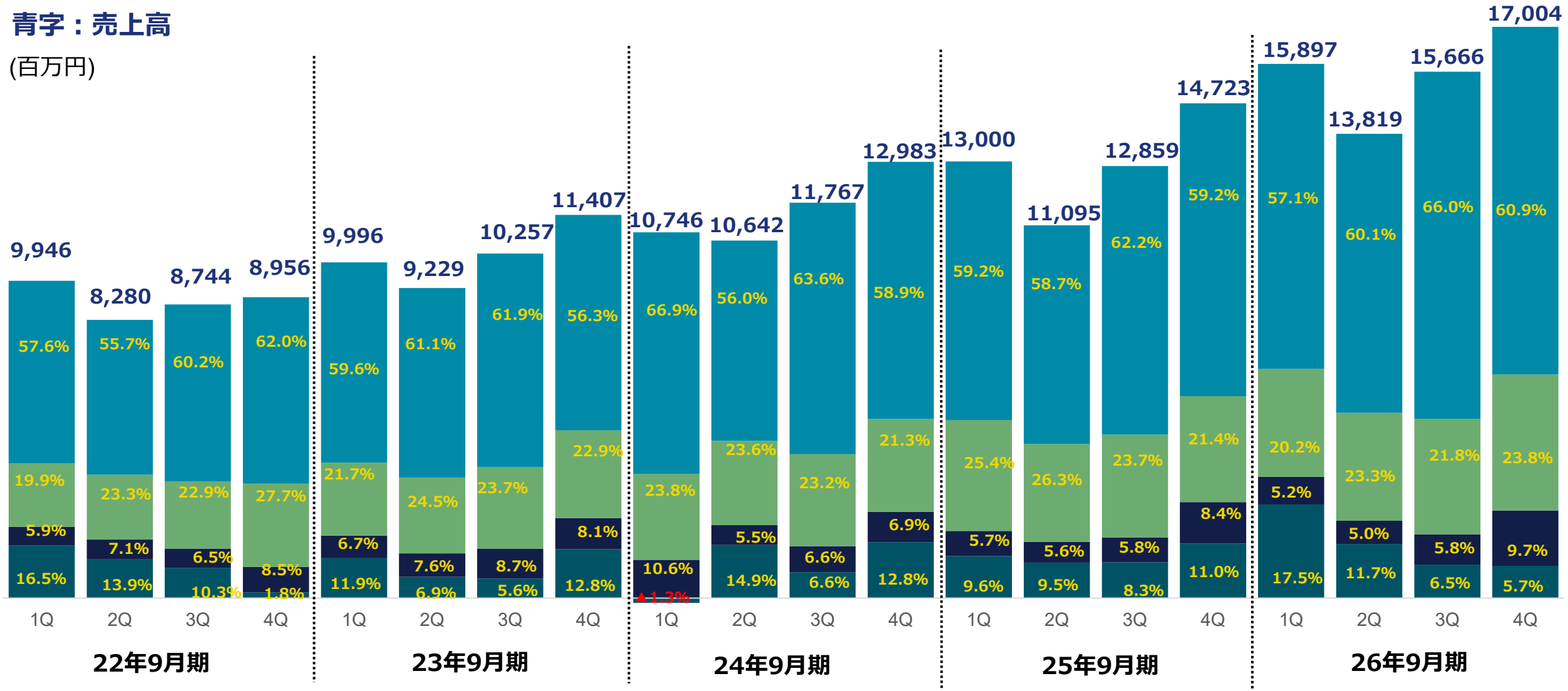
連結売上高　四半期推移


(百万円)
売上高
粗利益率
18,000
16,000
14,000
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
100.0%
90.0%
80.0%
70.0%
60.0%
50.0%
40.0%
30.0%
20.0%
10.0%
0.0%
9,446
8,280
8,744
8,956
9,996
9,229
10,257
11,407
10,746
10,642
11,767
12,983
13,000
11,095
12,859
14,723
15,897
13,819
15,666
17,004
42.4%
44.3%
39.8%
38.0%
40.4%
38.9%
38.1%
43.7%
33.1%
44.0%
36.4%
41.1%
40.8%
41.3%
37.8%
40.8%
42.9%
39.9%
34.0%
39.1%
1Q
2Q
3Q
4Q
22年9月期
23年9月期
24年9月期
25年9月期
26年9月期

連結損益の構成　四半期推移

青字：売上高

(百万円)



第4四半期　主なリリース一覧

2026年9月16日

『ウステキヌマブBS点滴静注130mg「F」』製造販売承認取得のお知らせ
- ウステキヌマブBS製剤におけるラインアップを拡充 -
https://www.fujipharma.jp/__upload/JP_fujipharma_20260916_2.pdf

2026年9月16日

『ゴリムマブBS皮下注50mgオートインジェクター「F」』製造販売承認取得のお知らせ
- ゴリムマブBS製剤におけるラインアップを拡充 -
https://www.fujipharma.jp/__upload/JP_fujipharma_20260916_1.pdf

2026年8月17日

ジェネリック医薬品（ポマリドミドカプセル）の製造販売承認取得のお知らせ
https://www.fujipharma.jp/__upload/JP_fujipharma_20260817.pdf

2026年8月10日

「DX認定事業者」の認定取得に関するお知らせ
https://www.fujipharma.jp/__upload/JP_fujipharma_20260810.pdf

参考情報リンク先

2026年5月15日

2026年9月期上半期連結決算説明会資料

https://www.fujipharma.jp/__upload/JP_FY9_2026_2Q_InvestorMeetingMaterials_20260515.pdf

2025年11月14日

25年9月期決算説明会資料

https://www.fujipharma.jp/__upload/JP_Business_Results_of_FY2025_20251114.pdf

2024年11月26日

中期経営計画資料

https://www.fujipharma.jp/__upload/JP_MidtermBusinessPlan2025-2029.pdf

2024年10月2日

長期ビジョン2035

https://www.fujipharma.jp/__upload/c58cace2296373d137e176fb305bb0e7d81e771d.pdf

予想および見通しに関するご注意事項

本資料に記載の業績予想及び将来の予想等に関する記述は、資料作成時点で入手した情報に基づき弊社にて判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、予めご了承ください。また、本資料に含まれている医薬品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

連絡先

富士製薬工業株式会社
グローバル・コーポレート本部　経営企画部　コーポレートコミュニケーション課

E-Mail fsk_ir@fujipharma.jp　URL https://www.fujipharma.jp/



FujiPharma